

獣医職



夢と感動を
とめない。



 JRA RECRUIT INFORMATION

JRAの概要

名 称	日本中央競馬会
所 在 地	東京都港区西新橋1丁目1番1号
設 立 年 月 日	昭和29年9月16日
資 本 金	49億2,412万9千円 政府全額出資
設 立 の 目 的	日本中央競馬会法第1条には設立の趣旨として「競馬の健全な発展を図って馬の改良増殖その他畜産の振興に寄与するため」とありますが、競馬施行の社会的意義は国民的レジャーを提供することにもあるといえます。
法 人 格	日本中央競馬会法（昭和29年7月1日法律第205号）に基づく特殊法人。公共性の高い法人で農林水産大臣の監督下に置かれています。



本部



トレーニング・センター



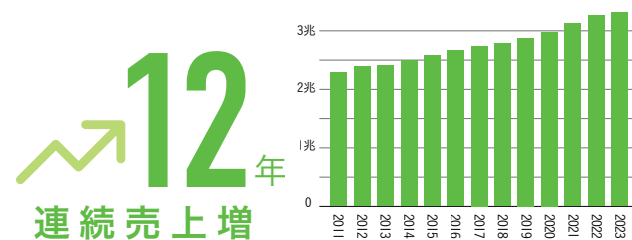
育成牧場

詳しくは採用ページへ ▶▶▶ <https://jra-saiyou.jp/>



○ JRAについて

中央競馬の売上高推移



勤続年数

平均
19.2年

平均有給休暇取得日数

 **12.8**日

平均残業時間(月)

 **12.1**時間

育休・産休

取得者数
 **74**名

※いずれも2023年度末時点

○ 福利厚生

充実した福利厚生で、みんなが安心して長く働ける職場を目指しています。



各種保険



育児・出産休暇



介護休暇



独身寮・舎宅完備・
家賃補助



教育支援



年間休日120日以上

職員数



約 **1,676**人

男女比

男性

73%

女性

27%



離職率

全体

約 **1.6**%



JRA RECRUIT
獣医職

○ 夢と感動をとめない。

競馬というスポーツエンターテインメントは

多くの人々と社会へ夢と感動を与え続けることができる。

だから私たちは、信頼に報いねばならない。少しも疑わず期待してくれる人があるのだ。

どんな変化がおきたとしても、自らの誇りを疑うことなく、走り続けなければならない。

ここから生まれる「夢と感動」を生み続けるために。ともに走り出そう。



○日本の競馬を支える、世界水準の獣医療を目指して

JRAの獣医職員は、競走馬の診療業務に加え、競走馬に関する調査・研究業務、生産・育成に関する業務、さらには競馬のルール作りに関する業務など、およそ160名が多岐にわたるフィールドで働いています。診療業務の舞台となるトレーニング・センター競走馬診療所では、ケガや病気の治療、高度な技術が必要とする検査や手術、スポーツドクターとしてのアドバイス、出走予定馬の確認や使用薬物の管理、予防接種をはじめとする防疫業務など、競馬主催者の獣医師として幅広い領域を担当しています。また、研究業務は競走馬総合



研究所を中心に行われ、競走馬のスポーツ科学、スポーツ障害や伝染病対応に関する研究に主眼を置き、幾多の研究成果をトレーニング・センターや生産地、育成牧場などに還元しています。入会後はトレーニング・センターをはじめとする各事業所で診療、研究および生産育成に関する知識や経験を積むとともに、公正かつ円滑な競馬開催のための業務に携わります。また、将来的には獣医職として培った経験を生かして様々な分野で働く可能性があり、幅広い活躍の舞台が用意されています。



○2つの仕事をもつ、JRA職員の働き方

平常業務

臨床獣医職、研究職、それぞれの所属する部署で競馬開催に向けての業務。



競走馬の診療業務、防疫業務、薬物規制に関する業務、競走馬全般に関する調査・研究など。

開催業務

競馬場等で競馬開催に携わる各種業務。



出走馬の馬体検査や事故馬の救護、レース後の出走馬の診断・治療、ドーピング検査のための検体採取業務など。

○JRA獣医職の仕事とキャリア（一例）

1～5年目

美浦トレーニング・センター
競走馬診療所



6～8年目

馬事部防疫課

臨床未経験から徐々に スキルアップ

大学時代は全く馬と関わりがなかったため、馬の触り方から先輩に指導していただき、獣医師としての独り立ちを目指しました。「1頭でも多くの馬を診なさい」という先輩の言葉を胸に、はじめは一般診療を中心に臨床経験を積みました。4年目ごろからは麻酔担当として手術にも携わるようになり、技術向上に努めました。アグレッシブな先輩方に感銘を受け、早く一人前の獣医師となり、診療所というチーム獣医療の一員として役立ちたいと思っていました。

9年目～

栗東トレーニング・センター
競走馬診療所



総合職の幅を広げ、 競馬開催では最前線で活躍

競馬開催に大きな影響を及ぼす伝染病の発生を未然に防ぐための各種防疫業務の調整や、競走馬総合研究所での感染症研究業務を遂行するための調整を行いました。伝染病関連など獣医学的な知識が必要となる場面が多く、生産地などを訪問する機会もあったため、診療とは違う観点で獣医師としてのスキルアップにも繋がる仕事でした。開催日は競走中の事故馬業務を主に担当し、様々な経験を積むことができました。

Message

JRAでは獣医師の教育体制が整っており、馬に触ったことがない人でも一人前の獣医師として診療ができるようになります。研修制度も充実しており、スキルアップができる環境も整っています。学生研修も受け入れていますので、興味をもっていたらぜひ研修に来てみてください。

1～5年目

美浦トレーニング・センター
競走馬診療所

6～7年目

馬事部防疫課

8～9年目

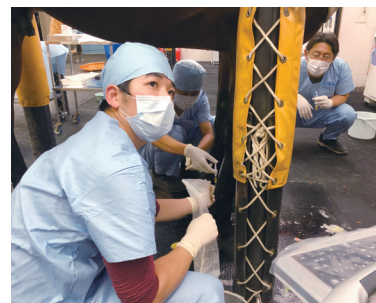
栗東トレーニング・センター
競走馬診療所

10～11年目

競走馬リハビリテーション
センター

12年目～

栗東トレーニング・センター
競走馬診療所



リハビリ業務を通じて 獣医師としての幅を広げる

レースへの復帰を目指す馬に対して、必要な治療やリハビリメニューの設定を行いました。事業所が小規模なため、全職員が職種の垣根を越えて一丸となり、競走復帰に向けたサポートを行っていました。リハビリをする馬を通じて様々な立場の人と関わり、馬を中心とした

繋がりを感じました。試行錯誤しながらリハビリを進めた馬が無事にレースに復帰できたときや、リハビリが上手く進まなかった症例を糧により質の高いケアができたときは、大きな達成感を感じました。



診療の中心となるとともに、 人材育成も担う

競走馬に対する診療業務を中心的に担いました。一次診療ではこれまでのトレーニング・センターや他事業所での経験を生かして難しい症例にも向き合い、二次診療では麻酔担当として安全に手術ができるようにサポートを行いました。治療に携わった競走馬に競馬場で再び出会い、関係者から感謝の言葉を貰ったときは、何にも代えがたい喜びがありました。また、入会13年目には新人獣医師の指導係を任せられ、人を育てることにもやりがいを感じました。

Message

JRAの獣医師は、臨床獣医師・主催者獣医師の両方の立場から競馬開催に関わることができ、これほど魅力的な仕事はないと感じています。ぜひ皆さんも中央競馬という日本最大級のスポーツエンターテインメントを私たちと一緒に盛り上げてみませんか。